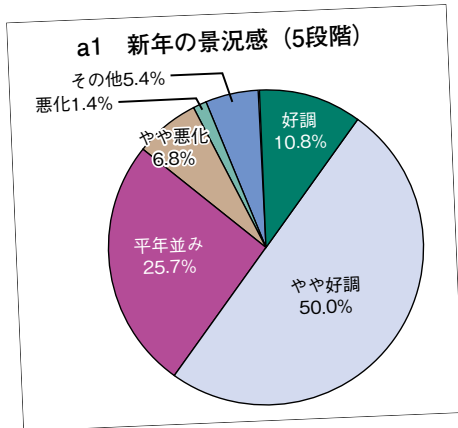


2022年 新年アンケート



コロナ懸念も 入場者増で 近来にない 好況感



新型コロナウイルス感染拡大に伴い政府は1月9日から広島県、山口県、沖縄県にまん延防止等重点措置を適用、1月21日から東京など13都県、27日から北海道、大阪など18道府県も加わって全国の8割方の34都道府県に拡大した。多くは2月13日ないし2月20日までの期間だが、緊急事態宣言で始まった昨年の年明けとも異なる情勢。確かに、オミクロン株は昨年夏の第5波以上の感染力を示し、全国で過去最大の一日8万人もの新規感染者数が報告されているが、重症化率の低さやワクチン接種、飲み薬の開発など徐々にだが出口が近づいているようにも感じる。何よりゴルフ業界の景況感が上向いている。

今回は1月中旬にゴルフ場を対象に行った新年webアンケートの結果をお届けする。

**景況感は半数が「やや好調」、
「好調」1割、DI値は66・6**

まず、【新年の景況感(5段階)】は、「やや好調」が半数の50%、次に「平常並み」25・7%、「好調」10・8%で85%を占めた。好調ややや好調の理由は、コロナ禍の影響

響、3密を避けられるレジャー・スポーツの為”などで入場者数が増えたと報告があった。DI値は66・6とかなり高く、寒波による積雪やコロナ感染者数の拡大で懸念を示し、一段階判断を下げたとする判断がなければもう少し高い結果となったかもしれない。ただ昨年年初は2割程度売上が減少したとみられただけに、売上が全回復するまでの勢いはなかったようだ。

次に【新年の抱負】では、「従業員の健康と安全対策」が71・6%で最も多く、「営業施策の強化」は37・8%で次位だがそれほど高くなく、「環境・社会への貢献」が31・1%を占めるなど、SDGsへの意識の高まりや経営的には社会を見渡す余裕が生まれたようだ。記述面ではコロナ関連、従業員、SDGs、営業関連、DXへの関心が伺えた。

従業員関連の関心の高さから聞いた【働き方改革】関連の質問では「求人」を回答者の74・3%が挙げ、働き方関連法の関係と人員不足からくる「有給休暇取得促進」44・6%、「勤怠管理」32・4%、「変形労働時間制」24・3%、「パ

a2 景況感の理由

①好調

- ・来場者増
- ・年末年始の予約でキャンセル待ちも数日あった
- ・コロナの影響だと思われる。
- ・コロナ禍
- ・コロナ禍によるバブル的景気（屋外スポーツによる安心感）
- ・現在当クラブはクローズ中ですが、群馬県内のゴルフ場が軒並み好調の様子
- ・春先の天候に恵まれ、営業日数が増加した。コロナバブル、日本人選手の活躍等
- ・若年層の増加による来場者数増加

②やや好調

- ・入場者が対前年度比増加傾向にある
- ・コロナ禍におけるゴルフ業界の好景気感
- ・来場者数は昨年とてよもよかった。今年も今のところ昨年並みの来場者を見込めそうな状況です
- ・単組予約の増加
- ・海外旅行のできない会員の方が増えている
- ・新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、屋外で遊ぶことのできるゴルフ・釣り・キャンプ・テニスなどを楽しむ方が増えた事で来場者の確保が出来ている
- ・年末年始はコロナの影響もなく前年よりはよかった
- ・コロナ禍の影響、3密を避けられるレジャー・スポーツの為
- ・アフターコロナのイメージで予約が入っている
- ・コロナの影響が少ない・天候に恵まれた
- ・コロナ過でスロープランが増えている
- ・昨年よりも来場者が多い
- ・昨年来の個人客増加が引き続いている。しかし、寒波の為若干減少あり
- ・足元来場者数は依然として好調の為
- ・1月10日までは、コロナ減少があったが今後は不調になる気配あり
- ・2021年10月以降から予約好調の流れが続いていると感じる
- ・コロナ禍に於いて、外出先が制限されている事、ゴルフ場は安心とされている為
- ・雪の影響がなければ、好調であったはずと考えている
- ・前年対比7%~10%増で推移
- ・来場者数は、前年を上回ったから
- ・昨年とあまり変わらないスタートです

- ・コロナ禍の比較的安全なスポーツとしてゴルフを選んでいただいているため
- ・完全セルフプレー営業での割安料金プランによるビジターの集客
- ・ゴルフブーム到来の兆しを感じる
- ・昨年より12月が増えてきたため
- ・コロナ感染状況の安定
- ・旅行重要の低下による影響が大きいと感じます
- ・天候が安定 来場者増 相変わらず単価は低いが動いていることがそう感じさせる
- ・値上げ傾向の中でもゲスト利用者・若年層の利用増
- ・予約状況の前年比がプラス傾向にある為
- ・新型コロナウイルスの影響による、アウトドアスポーツの人気拡大

③平年並み

- ・コロナ感染の終息が見えずオミクロン株の猛威など景況感是不透明
- ・予約は昨年よりやや好調、オミクロンの状況によっては今後悪化の可能性も有り
- ・感染数に影響されるものの売上増収
- ・売上比較による
- ・メンバー制なので来場者は、昨年とあまり変わりません
- ・4~6月が例年以下となり、その後好調
- ・前年と同様にコロナウイルスの第六波が懸念されるので平年並みと予想している
- ・クローズ中のため詳細判断不可
- ・不安要素もあるが、需要は旺盛である
- ・予約は入るものの寒気到来毎の積雪クローズで入場者数が伸び悩んでいます
- ・今年度のコンペ予約が例年並みのため
- ・プレー料金が比較的安価なコースは軒並み来場者数増となっている

④やや悪化

- ・自己都合による枠の縮小のため
- ・年明けからの感染拡大が始まり、ほぼ昨年と同じサイクルで緊急事態宣言やまん防が発令された場合、大きなコンペなどがキャンセルとなり売上が落ち込むから
- ・コロナウイルスによる影響
- ・コロナの感染拡大
- ・コロナウイルス（オミクロン株）の感染拡大

⑤悪化

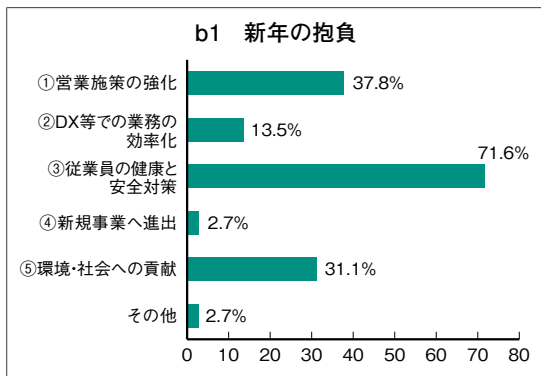
- ・大雪の為

ワハラ防止やストレスチェック」21
 ・6%と続いたが、「時間外含む時給・給与の手当」14
 ・9%、「人材確保等の助成金」13・5%、「就業規則の改訂」12・2%は少数だった。記述面でも回答の多い「求人」などが多かった。

将来の期待は若者、女性
ゴルフ場が考える初心者対策とは
 【将来への期待】では、「若者世代」71・6%、「女性ゴルファー」58・1%と圧倒的で、国内人口の多くなる「50歳前後の活性化」が35・1%、内部努力となる「施設やシステムのイノベーション」

25・7%、現在主力の「シルバー世代の活性化」は24・3%、「新しいプレースタイル」21・6%などとなった。記述面では若者や将来への布石に期待をかける意見が多くみられた。

ではコロナ禍で増えた【若者・初心者対策】の記述を見ていくと、マナーやスロープレーに対する懸念が多くみられ、エチケット・マナー・プレーファーストの啓蒙や声かけなどの指導、無料プレーのゴルフマジの受け入れ、地区連盟、市単位で初心者のスクール、倶楽部が事務局となったヤングクラブ、



b2 新年の抱負（記述式）

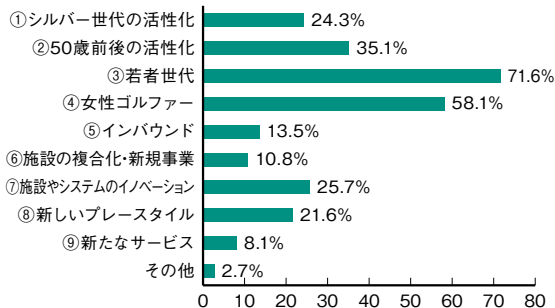
- ・コンサルティングサービスの利用
- ・来場者履歴により、DM等により営業案内を発送
- ・コロナ禍でゴルフを始められた方への継続対策
- ・従業員が働きやすい環境づくり
- ・皆が健康で楽しく
- ・コロナ対策を徹底していくことで、従業員の安全とお客様への安心を提供する
- ・まずはコロナ感染症防止対策
- ・運営の効率化を図り、より利用しやすいゴルフ場を目指す
- ・データのデジタル化、ペーパーレス化を推進する
- ・最近新型コロナのオミクロン株が猛威を振っているの
- ・感染症収束を見込んだ集客（国内、インバウンド）で増員、増収
- ・感染予防
- ・コロナ禍で客層に変化あり、若年層のゴルフ進出に期待している
- ・「とちぎSDGs推進企業」登録しました。環境活動・地域振興・社会貢献へ取り組んでいきます。具体的な活動として3年前から森林再生活動に地元町（町長）と活動団体と三者で取り組んでいます
- ・入場者数を追うのではなく、客単価を上げる
- ・集客力UP
- ・さらなる個人客への（非メンバー）アプローチ
- ・コロナ下での堅調ぶりを維持しつつ、従業員の満足度(ES)を向上させていく
- ・新型コロナウィルスに対する安全対策に尽きる
- ・コロナ対策オミクロン株対策
- ・昨年3月に運営会社が変わり、いろいろと営業企画を実施してきましたが、今年はさらに取り組んでいきたい。来場スタンブカード継続実施（2021年10月から実施中）。2022年友の会募集・営業DM強化など
- ・良いサービスを提供するには、従業員の満足度が不可欠
- ・ビニール等の石油製品の設置の縮小化
- ・プラスチック廃棄を無くすために少しずつ移行していく
- ・お客様に喜んでいただけるゴルフ場として存在感を示したい。立地条件や気象条件は変えることができないが、ホスピタリティや食事のメニューなどでおもてなしをしたい
- ・コロナ対策
- ・顧客管理を重視し、ビジターの誘客を推進する
- ・人材不足のため既存従業員の囲い込み
- ・ゴルフを通じて、障がい者施設や緑化活動への寄付等の支援、Jr教室等の次世代育成
- ・新しいゴルファーの創出とJrゴルファーの育成
- ・新型コロナと高齢者問題に取り組む
- ・コロナ渦の中、少しでも去年を上回りたい
- ・お客様満足度向上施策の実施と廃プラ推進
- ・申し訳ないがSDGsまで達していない。従業員やお客様の安心・安全をまず第一に考えたいです
- ・①～⑤すべて取り組んでいます
- ・SNSなどで情報提供を推進し、ペーパーレスを目指す
- ・従業員の有給休暇の取得。ロストボールの回収
- ・専門家による生活習慣病改善指導、プラスチックスマートの推進
- ・グループ会社全体で定めるSDGsの17項目や環境目標に取り組みます
- ・コース改善の徹底（排水不良、FW,グリーンの芝種変更）
- ・高齢化している従業員と来場者数増加に伴い作業負担増加を極力減らす策を検討
- ・倶楽部競技やコンペを増やし集客に繋げる。また、物価の高騰に伴い、料金を値上げし客単価UPを図る（一律300円値上げ）
- ・地元食材の積極的活用とフードロス削減を進めたい
- ・昨年、従業員が業務中の怪我により長期離脱を余儀なくされた。安全対策と休暇取得の促進を図り職場環境の改善を目指す
- ・従業員（セルフ対応のマスター室スタッフ）の高齢化（70歳以上）
- ・財務会計の効率化
- ・営業強化で来場者増 創意工夫で経費削減 目標額の利益をしっかりと残す
- ・稼働を抑えつつ今の利益を確保し、顧客満足度と従業員労働環境の改善を図る
- ・コロナ感染予防対策の強化
- ・コロナまん延防止と労災防止策の強化
- ・コース散水用の灌漑池を管理釣場にした
- ・新型コロナウイルス感染予防の強化

カーナビでの注意喚起、OB杭を赤杭（レッドペンalティーエリア）に変更してのコースの簡易化、プレーの多様ななどの具体的施策をあげるゴルフ場もあった。

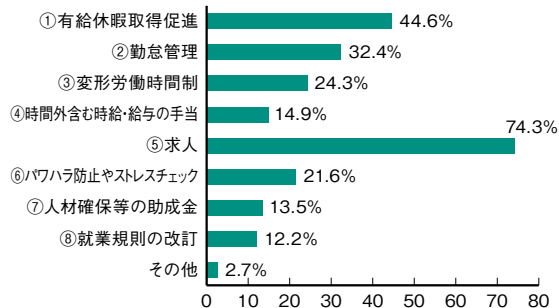
ドレスコードについては順守を挙げるところもあればカジュアル化を認めるところもあり、統一性はなかった。ただ「撮影による遅延プレー、許可なしでのドローン撮影、遅延プレー、遅刻」などの問題もあるようで、少なくとも事故がないように案内する際に、最初のうちは、なぜゴルフ場、ゴルファーがスロプレーや安全対策に注意しているのかを説明して理解を求める必要がありそうだ。

一方、【当面の課題】は「コース・施設の改修・修繕」を3分の2の67・6%が挙げ最上

d1 将来への期待



c1 働き方改革



c2 働き方改革（記述式）

- ・セルフ化の中でも人手が外せない部署での働き手不足
- ・パート職員の高齢化が進み、新しい職員の確保が必要
- ・今期より基本給を全体的に賃上げ予定
- ・労働時間・労働日数の管理、時間外労働の適正化、有給休暇の取得促進などの取り組みを行い、現在年間休日106日と有給を年度内で消化するようにしている
- ・人員、人材の確保が厳しい状況
- ・プレー代を上げられない中で、賃金の上昇、有休消化と難題が多い。また岡山県では利用税の見直しを県が検討している
- ・求人が思うように期待できない、高齢者用に頼る部分はある
- ・従業員の高齢化
- ・中々若い従業員が集まらない
- ・来場者の季節的な変動に対応する人員配置
- ・レストランホールの人材不足。募集しても動きなし
- ・パワハラに注意・防止の心掛け
- ・コロナウイルスでの顧客情報で記載事項が多く、顧客情報管理を徹底する

- ・求人を出しても、集まらない
- ・労働力不足が最重要課題です。更に労働者の高齢化も拍車がかかっております
- ・優秀な人材の確保が難しい
- ・政府は改革を求め自分たちのポイント稼ぎに邁進しているが、有給消化が出来ない企業に罰則を加えるだけで、取得出来た企業に対し恩恵がないのはいかかなものが腑に落ちない点がある
- ・人口の少ない中山間地では求人の難度が増えています
- ・会社が望む勤務形態の求人がこない
- ・求人に関して、冬期間クローズの為、通年雇用が難しく、期間雇用で募集を掛けるが、ほぼ0に近い。また、従業員の平均年齢が60歳前後と高齢化となっており、定年退職者は増えるが新採用が無い為、人材不足・人材確保にはかなり苦労しております
- ・世代交代による人員不足
- ・少しずつでも福利厚生充実を図っていく段階
- ・人員不足により有給消化が困難

以下「新型コロナウィルス」44・6%、「労務対策」36・5%で、「入場者対策」と「会員対策」は3分の1の33・8%だった。「食堂関係」と「インシシ・カラス等」も23・0%あった。

【営業改善に向けて】の質問では比較的判断が分かれ、「コース・ハウス施設の清掃・消毒と美化」41・9%、「接客、営業などの研修」と「廃プラ削減など環境保全の取り組み」33・8%、「コース・ハウス内施設管理の省力化」32・4%、「DXなどデジタル化」27・0%、「健康経営中心の働き方改革」24・3%、「ツーリズム含む地域、提携先との関係強化」20・3%、「SDGsに基づく行動宣言」12・2%などとなった。実は選択項目の半数以上がSDGs推進のステップと言われているものだが、行動宣言まで意識しているゴルフ場は少なかつた。またツーリズムやインバウンドなど

ポストコロナの意識も高まってきた。来ているよ。うだ。

ちなみに、新年でもあり、ゴルフ場内のヒット商品やゴルフ業界のヒット商品も記述式で尋ねた。

①は昨年、ゴルフ場でヒットしたお土産やレストランメニュー、注目できる製品を尋ねた。

②は最近画期的だと思ったゴルフ場向けシステム、製品を尋ねた。

①ではマチマチだがカ

d2 将来への期待

- ・2名プレーを希望される方が多くなってきた昨今、どのように3名もしくは4名プレーを多くし、収益向上できるかの挑戦
- ・コロナで増えた若者ゴルファーの継続した囲い込み
- ・人手不足による問題を解消するために、業務の効率化と経費削減を実行するためにハード面を改修等実施する予定
- ・若年層の固定化が課題
- ・現在、シルバー世代の採用を増やし、4時間・7時間・8時間と勤務時間を選び15名程度採用している
- ・ゴルフ場のHPでの予約を増やすためのスマホアプリでの管理
- ・若年層(男女)のゴルフ進出に期待はあるが、エチケット・マナーに大きな課題があることに懸念する
- ・若者世代への「ゴルフ場の名前」を知って頂くことへのアピール
- ・今後、コロナが終息した時点でインバウンドの取り込みが遅れない様準備しておきたい
- ・営業外収益の増加
- ・40歳から60歳までの現役世代のプレイヤー増加、男女共に2021年から新しい取り組みとして「フィットゴルフ」実施中
- ・単なる流行としてではなくこの先もゴルフを生産続けて頂きたい
- ・シルバー世代のゴルフ引退の歯止めはできない。若者世代やインバウンドの取込を業界全体で推奨していく必要がある
- ・機械導入によるセルフ化

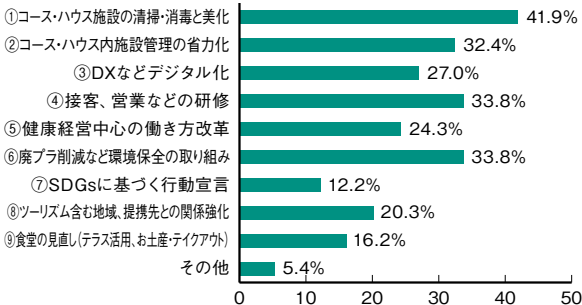
- ・現状来場者増の年代・世代であり、取り組みを行いたい
- ・女性客へのレンタル無料や特別レッスンの実施を計画している
- ・女性の来場が、相乗効果をもたらす
- ・現在のシルバー世代が元気な内に、若者世代を取り込むことが出来れば良いと考えています
- ・1ラウンドスループレーや3H 9Hプレーの設定が必要になる。
- ・初めてプレーする方でも簡単に体験できる方法を推奨する。ドレスコード無しやゴルフ一日体験など
- ・地域ではコロナ禍における入場者数増の背景に値引き競争による集客があり、収益性においては楽観視できない状況にあります。プレー料金の適正化を課題としています
- ・冬季クローズ（1月～2月）期間の活用について一考したい
- ・少子高齢化に伴い、10年後は業界にとってかなり厳しい状況になることが予想されます。若者を増やせたとしても、絶対数が少ない為、来場者の確保は相当難しくなり、経営の存続にも関わってくる可能性があります。その為には、若年層、女性、インバウンドをいかに集客するかが課題になると思います
- ・セルフサービス、スループレーの完全導入
- ・会員の適正な新陳代謝へ
- ・施設の老朽化による改修・修繕費の確保
- ・利用のない高齢会員が増えているので、3親等以内の名義変更料を直打ちにして名義変更を増やし、利用する会員数を増やす

d3 若者・初心者対策

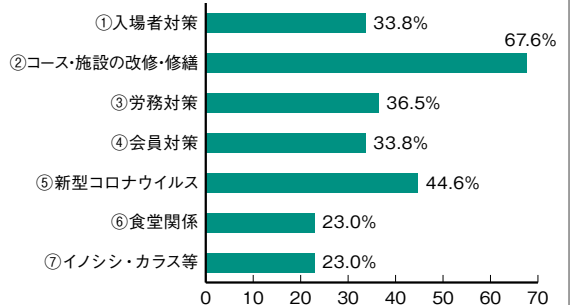
- ・ドレスコードの順守、マナー、プレー時間（ハーフ2時間10分）等の順守
- ・低料金＋スロープレー
- ・ゴルフの最低限のマナー、ルールを教えていくこと。しかし昔ながらの堅苦しいルールなどは見直し、ドレスコードなどカジュアルになっていくことも必要。楽しく続けてもらうことが重要
- ・特になし
- ・マナーを知らない若者への声掛けができるように、スタッフへの教育を徹底していく
- ・マナーやラウンドペースの維持
- ・OB杭を赤杭（レッドペナルティーエリア）に変更して、コースを簡単にしている
- ・スロープレー厳禁
- ・撮影による遅延プレー 許可なしでのドローン撮影 遅延プレー 遅刻
- ・ゴルフ業界として活性化の根底に、若年層に対し、良きゴルフファアの育成が大きな課題であると感じる
- ・ルールを知らない事にびっくりした事があります。会社の上司・先輩とゴルフを始めるのではなく、仲間・友人でゴルフを始めるので自分達のルールでプレーをしています。特にスロープレーは、気を付けています
- ・地区連盟、市単位で初心者スクールを継続。ゴルフ場への誘致を図る
- ・マナーアップ動画などを館内にて上映している
- ・通常の予約態勢にて実施中、来場してのプレイ状況を見てから判断します
- ・プレーファスト
- ・ゴルフプレーだけでなく色々なレジャー施設を考え中です
- ・ゴルファーとしてのルール、マナーの掲示
- ・最低限のマナーを依頼
- ・若者が増えていることは好ましい。1人1つバッグをお持ちにならないことも多く、レンタルを提案しても「必要ない」と言われたり、対応に苦慮している

- ・プレーの進行
- ・d2と並行施策を実施する
- ・時間厳守等のマナー向上
- ・ルール・エチケット・マナーの啓蒙
- ・セルフが当たり前なので、ルールとマナーを教えてコースにでて頂きたい
- ・リピート率の増加
- ・プレーファスト推進
- ・遅延プレーの注意など
- ・コロナ対策を万全にしています
- ・マナー
- ・エチケットマナーの低下（ラウンド所用時間・服装）
- ・ゴルフを積極的に受け入れている
- ・若者・初心者に向けた啓蒙ポスターの掲示。来場者全体に影響するスロープレー対策ではGPSナビによりカートの進行を把握し「ペース挽回依頼・イエローカード・レッドカード（ギブアップ推奨）」等の3段階の文書により注意喚起をしています
- ・スロープレーおよびコース内でのマナー
- ・細かいドレスコードは気にしないが、スロープレーや打ち込みなどのマナー
- ・倶楽部が事務局となり、ヤングクラブを設立、月1回の開催で、ラウンドをしながら、ルールやマナー・エチケットの習得や、技術の向上、相互の親睦を目的とし、さらに、ビジネスにも繋がればと思い開催しております
- ・プレーファストの啓蒙
- ・マナーの低下は顕著。各ゴルフ場のドレスコードは最低でも守ってほしい
- ・エチケット、マナー対策
- ・予約時間（スタート時間）、ルール・マナー及びプレー時間の厳守
- ・ガッツリ系のランチメニュー
- ・ドレスコードやエチケットマナー、進行促進への協力をお願い
- ・初心者及び高齢女性用に距離が短いティーを追加した
- ・エチケット、マナーの向上
- ・スロープレーにならないよう注意喚起

e2 営業改善にむけて



e1 当面の課題



レーやラーメン、もつ鍋など、お土産では冷凍シジミや冷凍餃子、ピザ、アップルパイ、高級食パンなどのテイクアウトを含む食べ物、ロスボールやかんくろうのヘッドカバーなどが目についた。②では配膳ロボットや無人芝刈り機、予約アプリ、自動精算機、カートナビ、顔認証による自動チェックイン、レストランセルフオーダーシステムなどが挙げた。

回答いただいた地域は、全国に満遍なく分布していた。次回のアンケートは新年度予算等を予定しています。奮って、ご意見をいただければ幸いです。

h ゴルフ場の所在地

